教員の養成の状況についての情報の公表

令和６年５月１日現在

対象学科：香蘭女子短期大学　保育学科（幼稚園教諭二種免許状）

(a) 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

保育者養成を主たる目的とする保育学科において、教員の養成の目標は、本学科のディプロマポリシー（学位授与の方針）と合致している。本学科ディプロマポリシーは以下の通りである。

保育学科　学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

１　さまざまな保育現場において実践家として活躍できる保育者

２　そのために必要な専門的な知識・技能と、それを支える基礎となる「保育者としてふさわしい人間性」を持った保育者

目標を達成するための計画は、本学科のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）と合致している。本学科のカリキュラムポリシーは以下の通りである。

保育学科　教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

１　専門教育

保育者として必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の３本柱とし、これらをバランスよく往還的に学んでいく。実践家として活躍できる力を身に付けるため、あそびと教材研究等を学び、「実習」「保育・教職実践演習」において総合的に学ぶ。

２　教養教育

自らの関心や特性をもとに科目を履修し、保育者としてのさらなる成長に必要な教養を身につけ深めていく。

３　初年次教育

主体的に学ぶ姿勢を身につけるため、オリエンテーションならびに総合演習において、短期大学における学習のあり方と心構えについて学ぶ。保育者を目指すクラスメートと共に学ぶ風土を形成し、保育士資格・幼稚園教諭免許の２つの資格免許取得を目標とする心構えを持つ。

４　キャリア教育

オリエンテーションならびに総合演習において、学年集会やクラスミーティング、ＯＧ懇談会、自主実習等を通し、社会人としての心構えや基本マナー、保育現場の実際、専門就職の方法について学ぶ。アドバイザーを始めとする学科教職員とのキャリア指導の中で具体的な学びを行う。

５　教科外学習

社会人として必要なコミュニケーション力、組織におけるリーダーシップ・フォローワーシップ、現場における協働力を身に付けるべく、学校・学科行事、サークル活動を体験する。

６　学園生活

毎日の授業や学生生活の中で、教員やクラスメートとの交流を通し、「保育者としてふさわしい人間性」を身につける。

保育学科学生にはカリキュラムポリシーを基に授業以外の行事や委員会活動の意義と重要性を説明している。

保育学科教員養成課程：

（⇒以下、本学履修規程より抜粋）

※幼稚園教諭免許の取得要件

(a) 保育学科に在籍し、卒業が認定されていること。

(b) 学則別表１の幼二種免許欄の所定の授業科目の単位を修得していること。

①領域及び保育内容の指導法に関する科目から領域に関する専門的事項の科目を７単位以上・　保育内容の指導法に関する科目を６単位以上修得していること。

②教育の基礎的理解に関する科目・道徳、総合的な学習の時間等及び生徒指導、教育相談等に関する科目・教育実践に関する科目をあわせて 20 単位以上修得していること。

③教職職員免許法施行規則第 66 条の６に定める科目で本学において定められた科目８単位を修得していること。

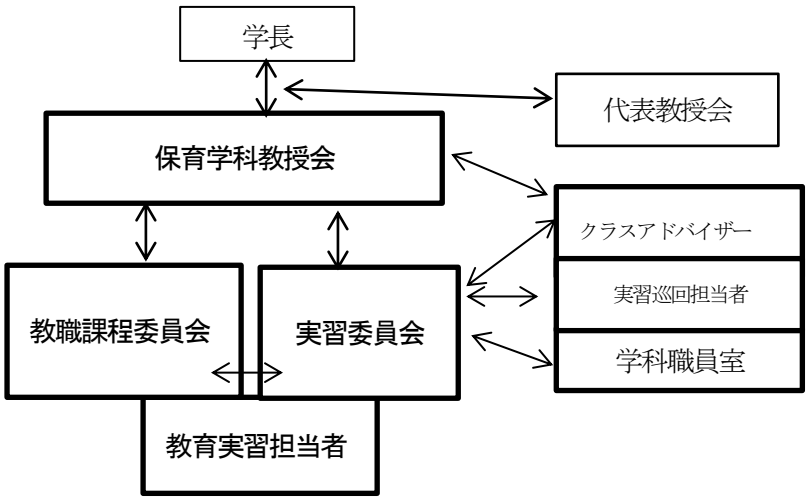
幼稚園教諭二種免許取得に必要な科目及び修得単位数

施行規則に定める科目区分等					施行規則に定める科目区分等			
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	開設授業科目	単位数	科　目	各科目に含めることが必要な事項	開設授業科目	単位数
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健　康	子どもと健康	1	教育の基礎的理解に関する科目	● 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ● 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育原理	2
		人間関係	子どもと人間関係	1				
		環　境	子どもと環境	1		● 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	保育者論	2
		言　葉	子どもと言葉	1		● 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学Ⅰ	2
		表　現	子どもと音楽表現 子どもと造形表現Ⅰ 子どもと造形表現Ⅱ	1 1 1		● 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	1
						● 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程総論	2
			計	7				
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容総論 保育内容Ⅰ（健康） 保育内容Ⅱ（人間関係） 保育内容Ⅲ（環境） 保育内容Ⅳ（言葉） 保育内容Ⅴ（表現）	1 1 1 1 1 1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	● 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法指導論	2
						● 幼児理解の理論及び方法 ● 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	幼児理解と教育相談	2
					教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（事前事後の指導を含む）	5
						教職実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園)	2
			計	6			計	20

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目				備　考
免許法施行規則に定める科目及び単位数		開設授業科目		
科　　目	単位数	授業科目	単位数	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体育	2	健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ	1 1	
外国語コミュニケーション	2	英語BⅠ 英語BⅡ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	1 1 1 1	英語BⅠ及びⅡの計2単位か、韓国語Ⅰ及びⅡの計2単位を選択
情報機器の操作	2	情報処理入門	2	

(b) 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

・教員の養成に係る組織



・教員の養成に係る教員数（専任教員）

教育の基礎的理解に関する科目等４名
保育内容の指導法　　１名
領域に関する専門的事項　　５名

・教員の学位及び業績

(⇒本学 WEB サイト情報公開　教員の業績等
http://koran.ac.jp/about/docs/disclosure-professor-hoiku.pdf　をご参照ください)

・各教員が担当する授業科目に関すること

(⇒本学 WEB サイト情報公開シラバス
http://koran.ac.jp/about/docs/disclosure-hoiku.pdf　をご参照ください)

(c) 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

(⇒本学 WEB サイト情報公開シラバス
http://koran.ac.jp/about/docs/disclosure-hoiku.pdf　をご参照ください)

(d) 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

※幼稚園教諭二種免許状取得の状況　(令和５年度卒業生：令和６年５月１日現在)

保育学科	
卒業生	教員免許取得者
５８	５７

(e) 卒業者の教員への就職の状況に関すること

※教員への就職者数 （令和５年度卒業生：令和６年５月１日現在）

保育学科	
認定こども園	幼稚園
１２	１２

(f) 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

・実践力を育てるための科目として、独自に保育教材演習Ⅰ・Ⅱを設定している。

・カリキュラム・ポリシーの１つに「教科外学習　社会人として必要なコミュニケーション力、組織におけるリーダーシップ・フォローワーシップ、現場における協働力を身に付けるべく、学校・学科行事、サークル活動を体験する。」を挙げている。教科外の委員会活動、学校・学科行事を教員としての実践力を育てる場として重要視している。

・平成 27 年度より教職員による相互の授業参観(授業公開)を義務化した。